



赤しそ（京都市左京区大原）

京都市左京区の大原では、しば漬けに欠かせない赤しそが育てられています。

「しそ」の漢名は「紫蘇」ですが、その由来ははるか昔中国で若者が食中毒を起こした際、しその葉を煎じて飲ませたところ回復し、「蘇る紫の葉」といわれたこととされています。

◆◆ 主な内容 ◆◆

トピックス

- 9月18日から28日はサステナウィーク「未来につながるおかいもの」

インフォメーション

- 令和3年度全国ジビエフェア参加店舗の募集について
- 令和3年「農作業安全ポスターデザインコンテスト」の受賞作品の決定について
- 【BUZZ MAFF】
広げよう「畑ヘルパー倶楽部」の輪！
- 【農林水産統計】
・ 8月10日に「近畿地域農業ナビ（市町村編）」の農業産出額データを更新しました
- スマート農業実証プロジェクト

9月18日から28日はサステナウィーク「未来につながるおかいもの」

～見た目重視から持続性重視のおかいものへ～

農林水産省は、消費者庁、環境省と連携し、「あふの環(わ)2030プロジェクト～食と農林水産業のサステナビリティを考える～」の取組の一環として、第76回国連総会開催時期にあわせて、9月18日(土曜日)から28日(火曜日)まで、サステナウィーク「未来につながるおかいもの」を実施します。

サステナウィークでは、「あふの環2030」に参画する企業等とともに、サステナブルな取組を発信、店頭等でPRすることで、「見た目重視から持続性重視のおかいもの」が増えることを目指します。



サステナウィークのコンセプト

私たちの生活は、農林水産業、ひいては自然環境からの恩恵を大きく受けています。

生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来に継承していくためには、気候変動や生物多様性の危機など、自然環境を取り巻く様々な問題から目をそらすことはできません。しかしながら、私たちが、普段何かを買ったり、食べたりしているときに、それが自然環境にどんな影響を与えているのか思いをはせる機会はなかなかありません。

サステナウィークをきっかけに、見た目だけでなく、食と農業、林業、漁業に携わる多くの関係者の地道な努力、環境に良い活動にも注目してみませんか。サステナウィークは、サステナブルな消費に向けた「小さな一歩」や、何を買えば良いかのヒントが見つかる11日間です。

★サステナウィークの取組・イベント紹介については、農林水産省ホームページをご確認下さい。

http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/210817.html

🔍「農林水産省 サステナウィーク」で検索

あふの環2030とは

「あふの環2030」は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の2030年までの達成を目指し、持続可能な消費を広めるための活動を推進するプロジェクトです(農林水産省、消費者庁、環境省連携)。「スPENDシフト～サステナブルを日常に、エシカルを当たり前！～」を合言葉に、生産から消費までのステークホルダーの連携を促進し、今の世代だけでなく次の世代も豊かに暮らせる未来を創ることを目指します。

サステナウィークのほか、勉強会や交流会、サステナアワードなどを実施するとともに、個々のメンバーの取組について国内外への発信等を行っていきます。詳細は「あふの環2030プロジェクト」ホームページをご覧ください。



https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/being_sustainable/sustainable2030.html

農政局からの お知らせ

◆令和3年度全国ジビエフェア参加店舗の募集について

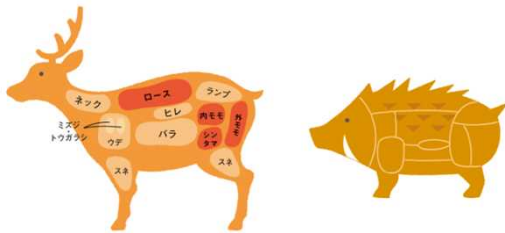
農林水産省では、ジビエ(野生鳥獣肉)の全国的な認知向上、普及、需要拡大に向けた取組を行っています。

その一環として、期間を設けてジビエ消費を促進し、ジビエメニューを提供する飲食店やジビエ商品を販売する店舗等の情報をとりまとめPRする「全国ジビエフェア」を開催することとし、参加店舗の募集を開始しましたので、お知らせします。

開催時期: 令和3年11月1日(月曜日)～令和4年2月28日(月曜日)

対象は、ジビエメニューを提供する飲食店や惣菜店、ジビエ商品を扱う小売店やEC事業者等です。

11月1日から「全国ジビエフェア」の特設サイトで参加店舗の情報を公開いたしますので、10月22日(金曜日)までに参加申込みをお願いいたします。なお、フェア期間中でも随時受け付けております。



詳しくはこちら(農林水産省ホームページ)
<http://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/210811.html>

◆令和3年「農作業安全ポスターデザインコンテスト」の受賞作品の決定について

農林水産省は、令和3年「農作業安全ポスターデザインコンテスト」の農林水産大臣賞、農林水産省農産局長賞、日本農業新聞賞を決定しましたのでお知らせします。

令和3年の受賞作品・受賞者は以下のとおりです。



詳しくはこちら(農林水産省ホームページ)
<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/sizai/210820.html>

◆【BUZZ MAFF】

広げよう「畑ヘルパー倶楽部」の輪!

農林水産省では、職員自らが、省公式YouTubeチャンネルで、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクト「BUZZ MAFF (ばずまふ)」を発信しています。

現在、近畿農政局(奈良県拠点)では、奈良市東部を主な活動場所とし、「農家さんに元気になってもらいたい」を合言葉に活動する農作業ボランティアグループ「畑ヘルパー倶楽部」の取組を紹介していますので、ぜひご視聴ください。

○エピソード1・広げよう、「畑ヘルパークラブ」の輪!(外部リンク)

<https://www.youtube.com/watch?v=PEZldeTuT58>

○エピソード2・「林檎の袋掛けに挑戦!」(外部リンク)

<https://www.youtube.com/watch?v=qhkeUWHSQyY>

○各チャンネルの紹介(農林水産省ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/j/pr/buzzmaff/>



農林統計情報

◆8月10日に近畿地域農業ナビ(市町村編)の農業産出額データを更新しました

「近畿地域農業ナビ」は地域の営農の特徴を、統計データやグラフにより表示できます。

農林業センサスを中心としたデータを収録した農業集落編と農林業センサスに加え、集落営農、耕地面積、水稻、畑作物、野菜等の作付面積・収穫量、農業産出額などの市町村別データを収録した市町村編を掲載しています。



詳しくはこちら(近畿農政局ホームページ)
<https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/2015census/navi.html>
または、「近畿農政局 近畿地域農業ナビ」で検索できます。

スマート農業実証プロジェクト

令和元年度からスタートした「スマート農業実証プロジェクト」。これまでに採択した全国179地区の取組内容を紹介するパンフレットと、実証に参加した**生産者や農業高校等の学生の声**をお届けします。皆様の技術導入に当たっての参考となれば幸いです。

機械に乗ることに苦手意識があったが、スマート農機で、できる仕事の幅が広がって嬉しいです。



スマート技術の導入によって家族の時間と笑顔が増えました。



人にしかできない作業に時間を割くことができ、農作物の品質向上など、さまざまなメリットを感じました。



実証の現場でスマート農業機械に触れ、魅力を感じて就職を決めました。



パンフレット→



生産者と学生の声→



農林水産省近畿農政局

企画調整室	〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町	TEL(075)451-9161	FAX(075)414-9060
滋賀県拠点	〒520-0044 大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎6F	TEL(077)522-4261	FAX(077)523-1824
京都府拠点	〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町	TEL(075)414-9015	FAX(075)414-9057
大阪府拠点	〒540-0008 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館6F	TEL(06)6943-9691	FAX(06)6943-9699
兵庫県拠点	〒650-0024 神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎4F	TEL(078)331-9941	FAX(078)331-5177
奈良県拠点	〒630-8113 奈良市法蓮町387 奈良第3地方合同庁舎	TEL(0742)32-1870	FAX(0742)36-2985
和歌山県拠点	〒640-8143 和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎	TEL(073)436-3831	FAX(073)436-0914